

検査の予習

本当は「コワくない」

いまどぎの大腸内視鏡検査

近年、大腸がんは日本人に急激に増加し、がんの部位別の死亡率では男性が第2位、女性では第1位になっています。一方で、早期に発見・治療ができれば完治が可能ながんでもあります。大腸がんが疑われる場合には、精密検査として「大腸内視鏡検査」が行われます。

大腸内視鏡は先端にカメラのついた内視鏡を肛門から体内に入れて、大腸の内部を映像で観察する検査です。もし病変があればその場で組織を採取したり、大腸がんのもとになるポリープの切除などの処置も可能です。現在は技術の進歩によって、痛みも少なく短時間で精度の高い検査や処置を行えるようになってきました。

近年、内視鏡を挿入せずにCT検査を利用して大腸内を検査する「大腸3D-CT検査」(バーチャル内視鏡検査)が開発され、苦痛のない検査方法の選択肢も広がりました。いまどぎの大腸内視鏡検査の方法を知って、もっと気軽に受診してください。

大腸内視鏡検査はこうして受ける!

検査前日

夕食は午後9時までに済ませ、処方された下剤を飲む。

検査当日

検査の4～6時間前に胃腸を活発にする薬を飲み、下剤を1.8ℓの水に溶かし2時間かけてゆっくりと飲む。便が無色透明になるまで排便する。便意が落ち着けば電車などで移動できる。

大腸内視鏡

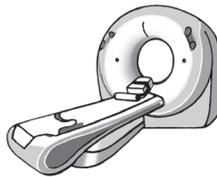
肛門から内視鏡を入れて腸内を観察して診断する。必要に応じて病変・ポリープの処置をする。処置がなければ検査時間は20分程度。



検査

大腸3D-CT検査 (バーチャル内視鏡検査)

CTで大腸を撮影し、その画像をもとに大腸内を3D画像化して診断を行う。内視鏡を挿入しないので苦痛は少ないが、病変の処置はできない。



別室で1時間ほど休んだあと、医師から説明を受ける。

検査後

すぐに医師から説明を受けて帰宅できる。

「大腸内視鏡&大腸3D-CT」検査 費用の目安(自己負担3割の場合)

検査費用は6,000円程度～(病変に処置を行った場合は別途加算)。

大腸3D-CT検査は短時間で済むが、処置ができず平坦な病変は発見しにくい。

予習メモ